

基準 1 2 地域貢献活動

(1) 観点ごとの分析

観点 1 2-1-①：大学の教育サービスの目的に照らして、地域貢献活動を適切に実施していくのにふさわしい体制整備がなされているか。

【観点到係る状況】

本学の地域貢献活動は、学則第 1 条に定められた目的のもと、地域住民に対して最新の研究成果をわかりやすく説明するとともに、現に県内の各医療機関で医療活動に従事している医療専門職者に対して最新の研究成果を提供するために、一般県民及び医療専門職者向けの公開講座を実施している。公開講座の基本的な実施方針及び実施計画は全学委員会である企画運営委員会に設置される地域連携部会によって議論され、決定されている。活動実施の周知は、本学ホームページはもとより、県の広域や地域の自治会広報などへの掲載及びチラシの挟み込みにより、広く地域住民及び医療専門職者に対して行なっている。また、群馬県教育委員会を通じて県内各教育機関等にも周知を図っている。

教員個人での地域貢献活動に対する支援については、教員に対して群馬県広報課による「出前なんでも講座」のメニューリストへの登録を奨励し、このメニューリストは群馬県庁ホームページにて周知が図られている。前橋商工会議所開催の「まちなかキャンパス事業」等の研修会については、講師依頼を随時教員に取り次いで講師派遣を行なっている。

【分析結果とその根拠理由】

地方公共団体が設置・運営する県立大学として求められる水準にふさわしい公開講座が計画され、地域住民並びに県内医療専門職従事者に向けて、しっかり周知が図られている。講師派遣についても、要請にそって教員に仲介する組織的な支援がなされている。

観点 1 2-1-②：地域貢献活動は目的に照らして適切に実施されているか。

【観点到係る状況】

公開講座の実施については、計画に沿った実施がなされる一方で、東日本大震災に際して発生した福島第一原子力発電所の事故に対応し、診療放射線学部が一般県民向けに放射線・放射能に関する緊急講座を開催した。これら公開講座の詳しい実施状況は資料 1 2-1-②-1 のとおりである。

教員個人による地域貢献活動としては、各教員が医療機関や職能団体等の依頼に基づいて、講師となって講演会等を実施している。その状況は 1 2-1-②-2 のとおりである。

その他には、群馬県広報課の主催する「出前なんでも講座」メニュー表に登録を行なっている教員や、前橋商工会議所の主催する「まちなかキャンパス」の講師を務めている教員がいる。「出前なんでも講座」の開催状況については資料 1 2-1-②-3 に、「まちなかキャンパス」の実施状況については資料 1 2-1-②-4 示すとおりである。また、参考までに平成 23 年度「出前なんでも講座」メニュー表において本学教員が講師として登録されている箇所の掲載場所と提供メニュー例を資料 1 2-1-②-5 に示す。

資料 12-1-②-1 公開講座実施状況（平成23年度実績）

【通常の公開講座】			
講演内容	開催日	受講人数	開催場所
専門職のための文献検索入門①	平成23年6月22日（水）	49人	マルチメディア教室2
正しい方法を再確認！ —放射線測定と被ばく相談—	平成23年7月2日（土）	43人	第21・22講義室
災害による健康被害とその対処	平成23年7月21日（日）	65人	多目的ホール
専門職のための文献検索入門②	平成23年9月14日（水）	39人	マルチメディア教室2
エビデンスに基づく看護実践の推進 —看護管理・術後患者支援のに関する研究成果の活用—	平成23年9月27日（火）	13人	22講義室、演習室
英語を楽しもう！	平成23年12月16日（金）	31人	マルチメディア教室1
中高年のためのパソコン学	平成24年3月5日（月） 平成24年3月6日（火）	32人	マルチメディア教室2
計		272名	

【緊急公開講座】			
講演内容	開催日	受講人数	開催場所
第1回緊急公開講座 放射能・放射線とは何だろう？	平成23年4月23日（土）	350人	大講義室
第2回緊急公開講座 放射能・放射線とは何だろう？	平成23年5月14日（土）	214人	太田市学習文化センター

資料 12-1-②-2 講演会等学外への講師派遣等の実施状況

（単位：人）			
	21年度	22年度	23年度
講師等派遣人数（のべ人数）	76	67	106

資料 12-1-②-3

「出前なんでも講座」実施状況

（単位：回）			
	21年度	22年度	23年度
出前なんでも講座実施回数	23	38	112

※同一人が複数回の口座を実施している場合がある

資料12-1-②-5 平成23年度「出前なんでも講座」の登録状況

群馬県庁ホームページ（<http://www.pref.gunma.jp/07/b2111296.html>）の中段にある「講座メニュー」の「メニュー1. 「県政」について説明します」－「①保健・医療・福祉」において、本学教員が講師として登録されているメニューが37項目掲載されている。

（例）

医療におけるヒューマンエラーと防止策	日常生活の中にあるヒューマンエラーから医療におけるヒューマンエラーについてお話しします。また…（略）	講師 五十嵐 博
--------------------	--	----------

【分析結果とその根拠理由】

聴講生等の受入や公開講座の実施、講師派遣等は計画にそって適切に実施されている。

観点12-1-③： 活動の結果及び成果として、活動への参加者が十分に確保されているか。また、活動の実施担当者やサービス享受者等の満足度等から判断して、活動の成果が上がっているか。

【観点に係る状況】

公開講座への参加者は資料12-1-②-1において示したとおりである。各回とも十分な参加者の確保がなされている。

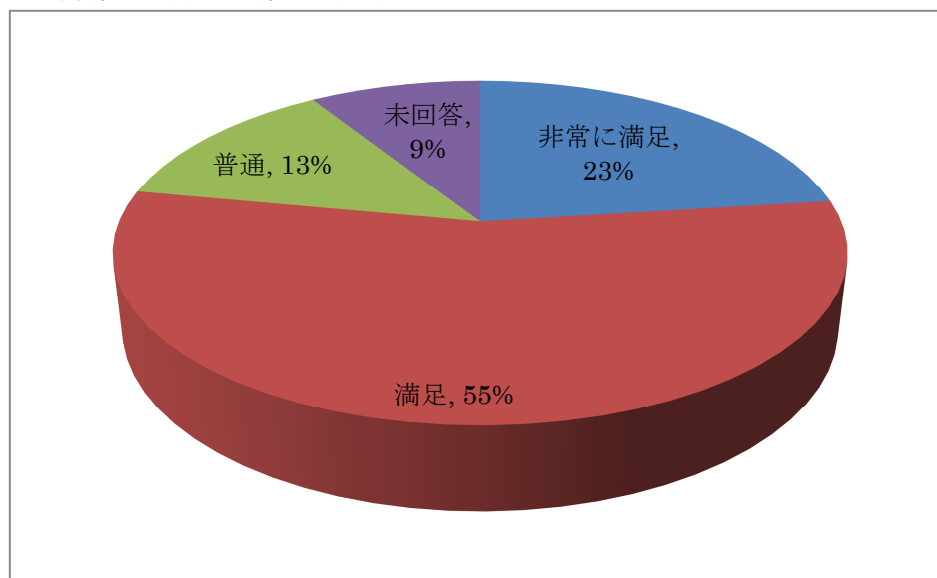
なお、公開講座終了後に参加者へアンケート調査を行なっている。その結果の概要としては資料12-1-③-2のとおりとなっており、高い満足度を得ることができている。

資料12-1-③-2 公開講座のアンケート集計結果（例）

平成23年度第3回公開講座「災害による健康被害とその対処」

平成23年8月21日（日） 13:00～16:00 一般県民を対象に実施

○第3回公開講座に対する受講者の満足度



【分析結果とその根拠理由】

聴講生等の受入や公開講座等の参加者は十分確保されている。公開講座については、受講者の満足度も高い。ただし、聴講生等については要望を受け入れる取組を行っていない。

観点 12-1-④： 改善のための取組が行われているか。

【観点に係る状況】

本学では毎年度、公開講座や講師派遣の状況を報告し、意見聴取を行うために「地域貢献活動報告書」を作成しており、これを設置者である県当局や公立大学協会、更には県内の各自治会や公民館に配布している。また、教員が出張先等で配布も行う。

なお、平成 22 年度では今までに受けた要望等に応え、インターネットでの参加申し込みに対応したほか、募集人数を大幅に上回る参加申込者があったテーマに関しては、複数回実施する等の改善を行った。

【分析結果とその根拠理由】

関係各所へ意見聴取の仕組みを整えている。また、要望に対しては対応出来ている。

(3) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

- ・ 公開講座については、企画運営委員会に設置される地域連携部会において、実施方針及び計画を定め、それがしっかり実施できている。また、十分な参加者が確保され、参加者の満足度も高い。
- ・ 特に平成 23 年度の公開講座は、東日本大震災に関連した原子力発電所の事故に関連する時宜に適った「放射線、放射能」の知識を提供でき、県民の疑問や不安解消に貢献できた。
- ・ 聴講生等は、研究科を中心に参加者を確保することができている。

【改善を要する点】

- ・ 聴講生等については、要望等を受ける仕組みがないため、アンケート調査等を行い、ニーズを把握する取組が必要である。